

# 岡山県総合文化センターニュース

## 道しるべ

### 福山の道しるべ



古くから笠岡地域は、山陽道を起点として縦横に道がつくられていた。隣接する福山藩では深津・引野・大門村を通して笠岡へ至る笠岡往還が整備され、重要な役割を果たしていた。

笠岡の交通史の一端を知る道しるべが笠岡市郷土資料館（笠岡市笠岡）入口付近の庭に立っている。高さ111cm、正面の幅20.5cm、側面の幅20cmの花崗岩製方柱で、もとは笠岡本町の三叉路にあったものである。

正面に左を指す手形と「ふく山みち」の文字が、左側面に「右たましま道」、右側面に「天保四巳五月」と刻まれている。

天保四年は福山往来が開通して間もないころである。笠岡の本町筋を通ってくる者に、備後福山への道を、西から来た者に玉島方面への道を案内した道標であつたらしい。

#### 【参考文献】

『岡山の道しるべ』巖津政右衛門／著 日本文教出版（岡山文庫70）『笠岡市史 第一巻』（1983年 笠岡市）『広島県史 近世1』（1981年 広島県）



# 「デジタル岡山大百科 — 郷土情報ネットワーク」

## ▶ 「デジタル岡山大百科」の3つの機能

これまで、岡山県総合文化センターは、全国有数のインターネット環境である岡山情報ハイウェイを最大限活用し、情報発信を試みてきた。

インターネットに公開した県内公共図書館等13館（2002年6月現在）の電子目録情報（書名、著者名、出版社名、所蔵する図書館名等）を一括検索する機能を持つ「図書館横断検索システム（分散型総合目録検索システム）」は、その代表例である。既に多くの利用があり、最寄りの図書館経由で、所蔵館から資料を取り寄せる資料搬送の仕組みも整っている。

平成16年度の新県立図書館開館時を目標に計画を進めている「デジタル岡山大百科」の試みは、この「図書館横断検索システム」を機能の1つに盛り込みつつ、県民がインターネットに接続したパソコンで地域の姿を百科事典的に見られること、調査研究できることを目標としたもので、さらに2つの機能が追加される。

1つは、「レファレンス（調査相談）データベース」である。これまで、調査研究に必要な資料の紹介や、資料を探すための支援は、来館、電話、文書、ファクシミリ、電子メール等で対応してきた。「レファレンスデータベース」により、レファレンスの回答事例集を検索し、自分自身で答が出せる仕組みを用意する。

もう1つが、以下で紹介する「郷土情報ネットワーク」である。

## ▶ 「郷土情報ネットワーク」とは？

これまで、公共図書館サービスは、紙形態の郷土資料の提供が主であった。情報通信技術が日常生活にごく自然に溶け込んだ今日、電子形態の郷土情報の提供が、公共図書館サービスに含まれるようになることは、必然の流れである。

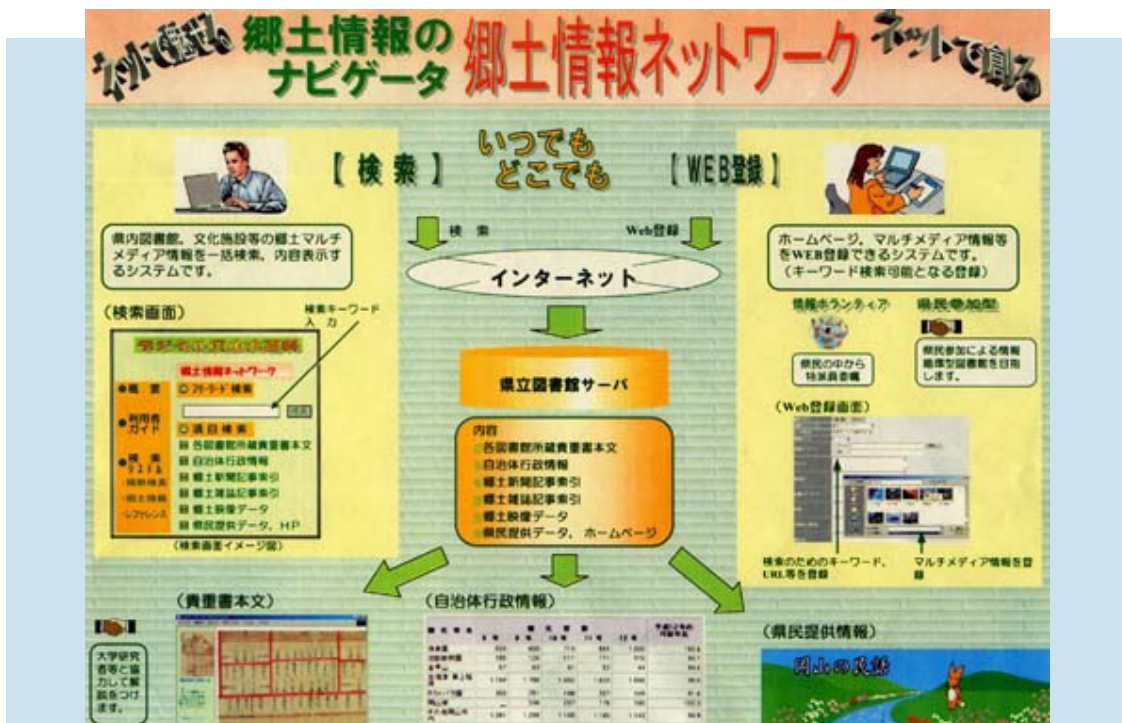
「郷土情報ネットワーク」とは、郷土に関するWebページや、音声、動画等のマルチメディア情報を一括検索、内容表示するシステムである。上記の「図書館横断検索システム」が、資料の目録情報の確認に止まるのに対し、「郷土情報ネットワーク」では、著作権の制約を受けない資料について本文内容まで確認できる。それらの資料には、県内各図書館所蔵の古文書、絵図、自治体発行の行政資料等がある。収録データにはほかに、郷土新聞記事索引、郷土雑誌記事索引、郷土映像データ等がある。

## ▶ 県民参加型の仕組み形成に向けて

これらの情報は、組織、個人等に散逸して蓄積される状況にある。そこで、県内公共図書館のみならず、大学図書館、自治体、県内各機関、さらに郷土史研究者等地域に密着した個人との協力体制を現在整備中である。岡山の歴史、民俗等に関する優れたWebページ、マルチメディア情報等について、キーワード検索等が可能となるよう、簡略形式で情報登録することを依頼する県民参加型の仕組みを計画中である。

目指すコンセプトは、県民参加による情報循環型図書館である。

（岡山県総合文化センター 整理課整理係）



## おかやま人物往来 ⑥8

### 三浦一族（正次、明次を中心に）

三浦家は明和元年（1764年）に、三河国西尾から美作国勝山に転封している。この勝山藩の初代藩主が三浦明次である。

三浦家は桓武平氏三浦義明の子孫で、室町時代に勝山に高田城を築いた三浦貞宗とは同祖異系である。

三浦家は正次の代に大名となり、正次から数えて六代目が明次になる。

三浦正次は、母が幕府の老中となった土井利勝の妹であったことと土井利勝のもとで暮らしていたこともあって徳川家康の仰せによって三浦を改め、土井と称し、土井甚太郎と名のっていた。その後、徳川秀忠の仰せによって土井を改め、三浦に復した。元和9年（1623年）6月、正次は徳川家光に供奉して京へおもむき、従五位下志摩守となり、家光の仰せによって姓を平から源に変えている。三浦家は元来平姓であるから、源姓に変えたということが正次の徳川秀忠落胤説の一因となっていると考えられる。

正次は寛永10年（1633年）に松平伊豆守信綱・阿部豊後守忠秋・堀田加賀守正盛・太田備中守資宗・阿部対馬守重次と共に徳川家光の許で「六人衆」の一員となる。この「六人衆」が「若年寄」の起源とされる。

寛永14年（1637年）の島原の乱の際には、家光の上意を伝えるために肥前国へおもむき、鍋島家に原城攻撃の抜掛けの秘策を授けたと伝えられる。鍋島家は、正次の恩に対して天満宮神像を贈り、さらに明次の勝山転封、勝山城新築の時に黄金1万両の借金を申し込んだところ、無期限無利子で融通したといわれる。

また、三浦明敬は鍋島光茂の養女を正室に迎え、三浦明喬は鍋島吉茂の養女を正室にしている。三

浦誠次にも鍋島齊直から正室が入っている。

正次は上総・下総・上野に1万5千石の領地を与えられ、さらに1万石を加増され、下野国壬生城主となった。安次を経て明敬の時に日向国延岡城へ移り、その後三河国荳屋城へ入った。明喬を経て義理の時に荳屋城から三河国西尾城へ移った。転封を経験した明敬、義理はいずれも「若年寄」に就任しており、幕府の要職を務めた。

明次は明喬の三男で、兄、義理の養子となって跡を継いだ。明次の時に転封となって勝山に移るが、高田の地名を勝山に改め、新城を築くことになる。この時將軍家から金4千両を拝領している。鍋島家への借金については前述の通りである。

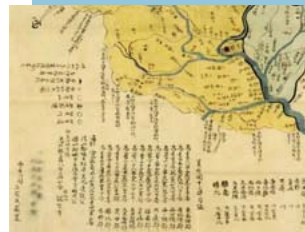
明次は書の名手で、書家三井親和に学び、太冲と号した。將軍ならびに尾張侯の書の師範をつとめたため、参勤交代の時に桑名、熱田間の渡海を三葉葵の印のある尾張家の船で行っており、明治維新まで続いた。

参考文献として次のようなものがある。

『寛政重修諸家譜』『美作勝山藩志稿』（佐野篤太郎編 岡山県地方史研究連絡協議会、昭和40年）『勝山町史（前編）』（森本清丸編 勝山町、昭和49年）『御帰城御道中日記』（嘉永7年）

勝山藩5代藩主  
三浦誠次の墓

勝山藩主は誠次の時から勝山町安養寺に葬送されるようになった。



美作国絵図（岡山県総合文化センター画像提供システムより）  
三浦明次の名が掲載

## うち 当館の参考図書 ①22

### 「食の366日話題事典」

（西東秋男著 2001.12 東京堂出版）

「今日は何の日」といった本は今までもあったが、これは「食」にこだわった一冊。

「カレーの日」「紅茶の日」などの「 の日」がどうして決まったかという記述はもちろん、料理の起源や食品の新発売日など、食生活、食文化に関する話題が366日分ぎっしりとつまっている。

「日本で初めて駅弁が売られたのはいつ?」「納

豆を一番多く消費している都市は?」「ちらしずしを考案したのは誰?」など、読み物としてもなかなか面白い。

著者の西東秋男（さいとう ときお）氏は、「岡山の食文化史年表」の著者でもある。そのためか、「山陽新報」の記事を引用したりして、岡山に関する記述が随所にみられて興味深い。

（「山陽新報」は「山陽新聞」の前身。明治12年に創刊された。現在の名前になったのは、昭和23年である。）



## 新着郷土資料紹介

「おかやま教育の日」実施報告書 平成13年度 岡山県教育委員会編、発行 2002 140\$  
 八丈島の秀家 流謫五十年 小林久磨雄著 池上淳之編、発行 2002 44\$  
 備中湛井十二箇郷用水史 復刻版 藤井駿著 加原耕作著 湛井十二箇郷組合発行 2001 826\$  
 岡山県優良企業ガイドブック 2003年版 優良企業47社最新情報 山陽新聞社編集、発行 2002 118\$  
 辰砂の赤を追って 水川陶影追悼集 柘植健次編集 柘植昌子発行 2001 74\$  
 おかやまの高校演劇 No.5 高校演劇50年 岡山高演協50年史編集委員会編 岡山県高等学校演劇協議会発行 2002 302\$  
 ダムで沈む村を歩く 中国山地の民俗誌 和賀正樹〔著〕 はる書房発行 2001 220\$  
 錦莞筵 平成13年度倉敷の文化財展ミニガイド

ド 倉敷市教育委員会文化財保護課編集、発行 2002 9\$

岡山県下賃金実態調査報告書 平成13年度地場企業実在者賃金調査 岡山県商工会議所連合会〔編〕、発行 2002 170\$  
 おかやま人物風土記 「グラフおかやま」再読 岡山県広報協会編集、発行 2002 268\$  
 王墓を彩る 特殊器台の系譜 岡山県立博物館編集、発行 2002 71\$  
 直原玉青作品図録 吉井町生涯学習センター館蔵 直原玉青〔作〕 吉井町生涯学習センター発行 2001 48\$  
 岡山県生涯学習センター開所5年のあゆみ 岡山県生涯学習センター〔編〕、発行 2002 33\$  
 岡山県議会会議録 平成13年12月定例会 岡山県議会〔編〕、発行 2002 268\$  
 岡山の暮らしと家を考える住宅百科 2002 Ea “家族”と“長く快適”に暮らす 山陽新聞社発行 2001 175

## 新着外国語図書紹介

アジア  
の大国

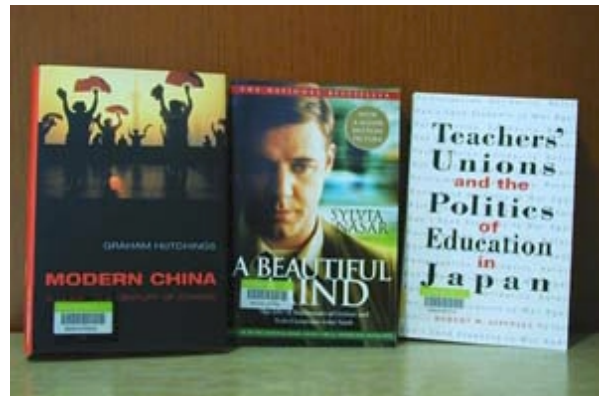
**Modern China : A guide to a century of change**  
 ( by Graham Hutchings / Harvard University Press / 2001 )

今後の千年は、世界の目が中国に釘付けになるであろう。なぜなら、近い将来、中国は政治的指導国かつ経済大国として台頭する可能性が高いと信じられているからである。本書では、この新興勢力中国を理解するのに欠かせない参考資料となる重要人物、場所、思想、事件についてアルファベット順に解説し、さらに200以上ものエッセイを交えている。著者のグレアム・ハッチングズ氏は、東洋・アフリカ研究者として知られ、ロンドンの「デイリー・テレグラフ」紙の中国通信員として、天安門広場民主化運動の興亡、中国の経済発展、台湾初の大統領直接選挙、小平氏の死去、中国への香港返還などを報道した実績もある。直接体験に基づいて書かれた本書は、中国を知るには最適の資料といえよう。

天才と病

**A beautiful mind : The life of mathematical genius and Nobel Laureate John Nash**  
 ( by Sylvia Nasar / Simon & Schuster / 1998 )

本書は、天才と言われた数学者、ジョン・フォークス・ナッシュの数奇な半生を描いたノンフィクションである。彼は、プリンストン大学院で数学を極めたが、30代に入って精神分裂病に苦しむ。しかし、病から劇的な復活を遂げた彼は、「ゲーム理論」に関する論文でノーベル経済学賞を受賞するのである。ゴールデン・グローブ賞ならびにアカデミー賞で主要部門を受賞した2002年公開の



同タイトル映画の原作で、全米批評家協会大賞受賞作でもある。著者は、経済学者でジャーナリストのシルヴィア・ナサー。彼女は、ナッシュの数学理論をわかりやすく解説するとともに、精神分裂症の厳しい現実を浮き彫りにしている。

変革

**Teachers' Unions and the politics of education in Japan**  
 ( by Robert W. Aspinall / State University of New York Press / 2001 )

本書は、戦後の日本教職員組合の歴史の概観を述べながら、最大組合であった日教組が1989年に分裂した原因と影響を分析している。日教組は、日本の教育・政治制度の大きな変革期であった1947年に結成され、教育界・政界と密接に結びつきながら発展してきた。1989年の分裂は、教育界・政界における次の大きな変革期に起こったのである。著者のロバート・アスピノールは、日本教職員組合が今までに果たしてきた役割を吟味した上で、現在の教育改革における今後の組合の役割について論じている。日本教職員組合について学術的な研究をもとに英文で書かれた数少ない貴重な資料である。

# 随想

## 私が日本で感じたこと

岡山県立大学非常勤講師 華 信 来



私が日本に来て今年で15年目です。日本に来てから今まで私は日本と中国の違いをたくさん感じました。今ここでその違いの一部を紹介させていただきたいと思います。

### 1 文化・生活習慣の違いについて

中国と日本は近いですが、国が違うと食文化も違います。日本の食文化を代表する食べ物である寿司、さしみは中国にはありません。中国人は寿司のような冷たいご飯を食べません。あたたかいご飯を食べます。さしみのような生魚や生たまごも食べません。すべて調理をしてから食べます。日本ではみそ汁を飲む時にスプーンを使いませんが、中国ではスープを飲む時にスプーンを使います。中国人は麺を食べる時に音を立てません。でも、日本人はわざと音を立てておいしそうにします。

日本人は人に会った時によくおじぎをしますが、中国人はおじぎをしません。時々握手をするだけです。中国ではお客さんがお店に入ってきて店員は「いらっしゃいませ」と言いません。椅子に坐ったままお客さんと話しをするのが普通です。日本の家はたたみの部屋がありますが、中国の家にはたたみがありません。中国人はベッドで寝て、椅子に坐ります。日本人のように床に寝たり、坐ったりはしません。家の中では、くつろぎ、スリッパをはきます。中国人はお風呂の中で体を洗いますので、家族も皆別々のお湯を使います。中国人は、外出する時くつろぎをはきます。サンダルのままお店に入ったり、バスに乗ったりするのは行儀が悪いと思われるからです。日本では、大学の教授もサンダルのまま授業をしているので、最初はびっくりしました。

もっとびっくりしたのは自転車で、あるお店の前を通った時にたくさんの花輪を見かけ、楽しい音楽が聞こえてきた時でした。中国ではお葬式の時だけに花輪を使い、悲しい音楽を流します。でも日本では開店祝いにも花輪を使うのです。

### 2 漢字の違いについて

私は留学生として日本に来ました。最初日本語がほとんどわからなくて大変でしたが、日本人に時々「中国人なのだから漢字は大丈夫でしょう」と言われました。でも、実はそうではありません。中国の漢字と日本の漢字は通じる場合も多いですが、通じない場合もあります。同じ漢字であっても意味が全然違うものもあります。例えば以下の例のように、日本の漢字の表すものが、中国語では、全く意味がかわってしまうことがあります。

| 日本の漢字 | 中国語での意味   |
|-------|-----------|
| 1 床   | ベッド       |
| 2 手紙  | トイレットペーパー |
| 3 汽車  | くるま       |
| 4 新聞  | ニュース      |
| 5 走る  | 歩く        |
| 6 同居  | 同棲        |
| 7 湯   | スープ       |

また、次の例のように単語の順序が日本語と中国語では逆になるものもあります。

| 日本語  | 中国語 |
|------|-----|
| 1 紹介 | 介紹  |
| 2 探偵 | 偵探  |
| 3 窃盗 | 盜竊  |

また、中国では、以下の単語は全く、意味が通じません。

|      |      |      |      |
|------|------|------|------|
| 1 番組 | 2 切符 | 3 切手 | 4 役割 |
| 5 万引 | 6 出張 | 7 台所 | 8 子供 |

中国の単語の中にこのような組み合わせはありません。結局、いくら漢字がわかるといっても、体系的に勉強しないと日本語は分かりません。

このように中国と日本の違いはいろいろあります。異文化を知ることが国際交流のためには最も重要なことだと思います。お互いに正しく理解することこそ友好の基本だと思います。

私が中国と日本の違いについてお話ししたことで、皆さんに中国を少しでも正しく理解していただければありがたく思います。

## 研修を終えて

6月11日から3週間、岡山県総合文化センター図書館で研修をさせていただきました。

鏡野町では、来春新しく図書館が開館します。町内には今まで図書館がありませんでしたので、図書館に対する町民の方々の期待はとても大きいものです。その期待に応えるべく、4月に図書館準備室を設置し、開館へ向けてのスタートを切りました。新館準備という大きな仕事に携わる機会に恵まれた私達ですが、司書としての経験も浅く、どうすれば親しみやすい図書館にすることができるのかという思

いが、焦りや不安に変わるばかりでした。

この研修で、県立図書館の皆様には基本から丁寧に教えていただき、具体的な図書館の仕事に触れることができました。鏡野で再び準備室の仕事に戻り、不安に思うことがあっても、今回の研修で学んだことが次へ進むための基盤になると思います。図書館の皆様には貴重なお時間を割いていただき、大変ありがとうございました。

鏡野町図書館準備室 酒井 由美恵  
忠政 久美子

ギャラリー

| 期間<br>(週)                  | 第 1 展 示 室   |                                      | 第 2 展 示 室  |   |
|----------------------------|---|--------------------------------------|--|---|
|                            | 大 室   | 小 室                                  | 大 室  | 小 室   |
| 7/30<br>8/4                | 第44回 東中国自由美術展(巡回展)<br>絵画60点・立体5点<br>自由美術協会岡山支部<br>入場無料  |                                      | 第14回 水墨画 萌苑会展<br>水墨画200点<br>萌苑会<br>入場無料                                  |   |
| 8/6<br>8/11                | 第12回 画布(キャンパス)展<br>洋画120点<br>画布の会<br>入場無料   | 七彩展<br>油絵18点<br>七彩会<br>入場無料          | 2002 全日本写真連盟<br>岡山県本部展・第58回 朝日写真展(巡回展)<br>写真250点<br>全日本写真連盟岡山県本部<br>入場無料 | 集樹展<br>洋画40点<br>集樹<br>入場無料                            |
| 8/13<br>8/18               | 第33回 玉龍会展<br>書50点・絵画10点・写真15点・陶5点<br>玉龍会<br>入場無料  |                                      | 第7回 工友美術展<br>絵画・彫刻・工芸等110点<br>工友美術会<br>入場無料                              | 32 展<br>洋画15点・デザイン5点・水彩10点・CG10点<br>32 展実行委員会<br>入場無料 |
| 8/20<br>8/25               | 街ヲ耕ス<br>インスタレーション他<br>すつくす<br>入場無料  |                                      |  |   |
| 9/4<br>9/8<br>9/11<br>9/15 | 第53回 岡山県美術展覧会(期 9/4~9/8、期 9/11~9/15)<br>書2,700点<br>(株)山陽新聞社<br>前売600円、当日700円(期のみ500円)、小・中・高300円(期のみ200円)、65歳以上350円(期のみ250円) |                                      |  |   |
| 9/17<br>9/22               | 第21回 操風展<br>洋画70点<br>操風会<br>入場無料  | 第16回 竜墨書道会展<br>書60点<br>竜墨書道会<br>入場無料 | ライオンズクラブ美術展<br>洋画30点・日本画20点・工芸40点・書20点他<br>市内ライオンズクラブ<br>入場無料            | 白青会展<br>洋画35点・日本画3点・版画5点<br>白青会<br>入場無料               |
| 9/24<br>9/29               | 第27回 岡山県教職員美術展<br>日本画30点・洋画120点・版画15点・彫刻5点・写真70点・書110点<br>(財)岡山県教職員互助組合<br>入場無料   |                                      |  |   |

ギャラリーの開場時間は通常9時から17時です。  
団体の都合により、展覧会名称・入場料等が変更されることもあります。

ホール(固定席282席)

| 日 曜)               | 催 物  | 時 間                                  | 料 金                                  | 主 催 者  |
|--------------------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 8/10(土)<br>8/11(日) | 第3回重音楽演奏会<br>"Rock Of The Day"               | 13:30~<br>13:00~                     | 1,000円                               | Rock Of The Day<br>実行委員会                     |
| 8/18(日)            | 岡山県吟剣詩舞道総連盟青少年大会                             | 9:30~                                | 無 料                                  | (財)岡山県吟剣詩舞道総連盟                               |
| 8/20(火)            | 「少年の主張」岡山県大会                                 | 13:00~16:30                          | 無 料                                  | (社)岡山県青少年育成県民会議                              |
| 8/24(土)            | ピアノ発表会<br>「Lovely Concert」                   | 11:00~15:00                          | 無 料                                  | あ・ん・だ・ん・て                                    |
| 8/25(日)            | ピアノ発表会                                       | 11:30~                               | 無 料                                  | 石井順子   |
| 8/31(土)<br>9/1(日)  | (第329回 文化センター土曜劇場)<br>岡山大学演劇部公演              | 14:00~予定<br>18:00~予定<br>12:00~予定     | 前:400円/当:500円<br>会員、部OB無料            | 岡山県総合文化センター                                  |
| 9/2(月)             | 文化センターホール使用抽選会<br>(対象期間:H15.3月~5月)           | 9:00~                                |                                      | 岡山県総合文化センター<br>総務課文化係                        |
| 9/7(土)<br>9/8(日)   | 劇団らくだのくるぶし 13回公演<br>「Blue Garden」            | 18:30~<br>13:30~                     | 前:1,000円/当:1,200円                    | 劇団らくだのくるぶし                                   |
| 9/14(土)            | 演劇公演<br>「再びの焰(ほむら)」他                         | 13:00~                               | 1,000円                               | 岡山職場演劇集団                                     |
| 9/20(金)            | 演劇公演   | 未 定                                  | 未 定                                  | 劇団ハンバーガーショップ                                 |
| 9/21(土)            | マスカット・おもちゃ箱<br>ジョイント・コンサート                   | 13:00~16:00                          | 500円                                 | 岡山理科大学マスカット<br>就実女子大学・短期大学<br>フォークソング部 おもちゃ箱 |
| 9/22(日)            | ギター発表会                                       | 13:00~                               | 無 料                                  | 吉岡ギター教室                                      |
| 9/28(土)<br>9/29(日) | (第330回 文化センター土曜劇場)<br>劇団 SOFT GEAR 公演<br>西遊記 | 14:00~<br>17:30~<br>11:00~<br>14:00~ | 前:1,000円/当:1,500円<br>会員、65歳以上、身障者 無料 | 岡山県総合文化センター                                  |

ホールの、楽屋25・舞台96.40・客席196.98・固定席282席です。  
使用希望者は、3ヶ月ごとの抽選会に出席してください。  
平成14年度のホール抽選会は、6/3(12~2月)・9/2(3~5月)・12/2(6~8月)・3/3(9~11月)ですが、抽選済みの期間で空きがあれば随時受け付けています。  
使用目的は、ピアノ発表会・バンド演奏会・演劇公演等、営利目的以外の芸術文化関係の催しに限ります。  
上記の催し物は、6月末現在申し込み済みのものです。  
主催団体の都合で、中止・変更等の場合もありますので、事前に御確認願います。  
会員.....文化センター友の会及び文化振興会会員

催し物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。(http://www.libnet.pref.okayama.jp)